

Weekly report



株式会社 ミンカブ・ジ・インフォノイド
東京都東京都千代田区神田神保町3-29-1

為替週間展望＝ドル円は底堅く推移か

〔11月11日からの1週間の展望〕

週間高低（カッコ内は日）		11月4日～11月8日			
始 値	高 値	安 値	終 値	前週比	
ドル・円	108.21	109.49(7)	108.18(4)	109.27	+1.08
ユーロ・ドル	1.1165	1.1175(4)	1.1036(7)	1.1050	-0.0116

国内株・金利／米国株・金利

	終 値	前週末比		終 値	前週末比
日経平均株価	23,391.87	+541.10	日本10年債利回り	-0.056	+0.120
ダウ平均株価	27,674.80	+327.44	米10年債利回り	1.917	+0.207

<来週の主要経済統計等>

- 11日 日本9月機械受注高
日本9月経常収支
英第3四半期国内総生産（GDP）速報値
英9月鉱工業生産指数、英9月製造業生産指数、英9月貿易収支
- 12日 英10月雇用統計
独11月ZEW景況感指数
- 13日 NZ準備銀行（RBNZ）政策金利
独10月消費者物価指数確報値
英10月消費者物価指数、英10月生産者物価指数、英10月小売物価指数
ユーロ圏9月鉱工業生産指数
米MBA住宅ローン申請件数
米10月消費者物価指数
米10月財政収支
- 14日 日本第3四半期国内総生産（GDP）1次速報
豪10月雇用統計
中国10月小売売上高、中国10月鉱工業生産指数
独第3四半期国内総生産（GDP）速報値
スイス10月生産者・輸入価格
英10月小売売上高
ユーロ圏第3四半期域内総生産（GDP）改定値
米10月生産者物価指数、米新規失業保険申請件数
- 15日 日本9月鉱工業生産指数確報値
ユーロ圏10月消費者物価指数、ユーロ圏9月貿易収支
米10月小売売上高、米11月NY連銀製造業景気指数
米10月輸入価格指数
米10月鉱工業生産・設備稼働率

【前回のレビュー】米中協議への不透明感は根強く残り、ドル円はやや上値の重い展開が見込まれるが、ドル円は堅調な日米の株価などが支えとなって、大きく崩れにくい地合いとなっており、ドル円は107～108円台でのみ合いが見込まれるとした。

【米中合意期待でドル円は堅調な推移】

米中貿易協議の進展への期待感が米株高につながり、4日にはNYダウ、ナスダック、S&P500の主要3指数がそろって過去最高値を更新した。5日の日経平均は400円超の大幅高となり、ドルも堅調な動きを見せており、ドル円は108円台後半ま

で上昇した。

5日の米国市場では10月の米ISM非製造業景況指数が54.7となり、大方の事前予想の53.5や前回の52.6を上回ったことで、米国の景気減速への警戒感が後退した。米中貿易協議の進展期待もあり、ドル円は109円台に乗せた。なお、この日の米国株は、NYダウとナスダックは小幅ながら上昇した。過去最高値を更新したものの、このところの上昇から利益確定の売りも出やすく、上げ幅を抑えられた。

ただ、6日に貿易協議の部分署名の時期が当初予定されていた11月から12月にずれ込むと可能性があることが報じられた。これを受けて米国株は伸び悩み、NYダウは小幅安で引けた。7日には、米中両国が追加関税を段階的に撤廃することで合意したと報じられたことで、米株高、ドル高の動きとなり、ドル円は一時109円台半ばまで上昇した。

米第3四半期国内総生産（GDP）速報値、米連邦公開市場委員会（FOMC）、米雇用統計、米ISM製造業景況指数、米ISM非製造業景況指数といった注目度の高いイベントや経済指標を通過する中でも、FOMCと並んで米中貿易協議の先行きは市場に影響を与える大きな材料となった。

ドル円は引き続き米中貿易協議の動向に左右されるとみられる。米中首脳による署名が12月にずれ込むとしても、両国から合意に向けて前向きなコメントが出てきており、米国株やドルの下支え要因になるとみられる。こうした中、ドル円は底堅い推移が続きそう。一段と上昇すれば110円の大台に乗せる可能性も出てきそう。ドル円の目先の予想レンジは、107.75～110.50円。

今後の日米の経済指標やイベントとしては、11日に日本9月機械受注高、日本9月経常収支、13日に米MBA住宅ローン申請件数、米10月消費者物価指数、米10月財政収支、14日に日本第3四半期国内総生産（GDP）1次速報、米10月生産者物価指数、米新規失業保険申請件数、15日に日本9月鉱工業生産指数確報値、米10月小売売上高、米11月NY連銀製造業景況指数、米10月輸入価格指数、米10月鉱工業生産・設備稼働率などがある。

【ユーロドルは上値の重い動きか】

ユーロドルは1.11台後半まで上昇した後は下げに転じている。日足チャートではダブルトップをつけた格好となっている。ダブルトップの谷間の安値（1.1074ドル）、いわゆるネックラインを割り込んでおり、上値の重さを感じられる動きとなっている。

ドルの堅調さを受けてユーロドルは上値の重い展開を見せている。米中貿易協議の進展期待などを背景に米国株が過去最高値を更新するなど堅調な動きを見せるとともに、ドル買いの動きにつながっている。ユーロドルは軟調な地合いが続いて、下値を探る動きとなりそう。ユーロドルの目先の予想レンジは、1.0950～1.1175ドル。

日米以外の今後の経済指標やイベントは、11日に英第3四半期国内総生産（GDP）速報値、英9月鉱工業生産指数、英9月製造業生産指数、英9月貿易収支、12日に英10月雇用統計、独11月ZEW景況感指数、13日にNZ準備銀行（RBNZ）政策金利、独10月消費者物価指数確報値、英10月消費者物価指数、英10月生産者物価指数、英10月小売物価指数、ユーロ圏9月鉱工業生産指数、14日に豪10月雇用統計、中国10月小売売上高、中国10月鉱工業生産指数、独第3四半期国内総生産（GDP）速報値、スイス10月生産者・輸入価格、英10月小売売上高、ユーロ圏第3四半期域内総生産（GDP）改定値、15日にユーロ圏10月消費者物価指数、ユーロ圏9月貿易収支などがある。

MINKABU PRESS 佐藤昌彦

※投資や売買については御自身の判断をお願いします。

<免責事項>

本レポートは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終判断はご自身の責任においておこなわれるようお願いいたします。また本レポートに掲載している情報の正確性については伴線を期しておりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドは、利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドが提供するすべての情報について、許可なく転用・転載等することを固く禁じます。

<著作権について>

本レポートの著作権は、原則として当社(株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド)が保有しており、著作権法、その他の法律および条約により保護されています。本レポートご利用のお客様は、私的使用目的の複製、引用等著作権法上認められている範囲を除き、当社およびその他著作権者の許諾なく、これらの著作物を翻案、公衆送信、営利を目的とする使用等いかなる目的、態様においても利用することはできません。